

では遺憾の點が尠くないので、四月來市役所前を初めに十四個の消火柱栓を設け試験中の處、好成绩なので愈々右様式を採用する。

■**水源の植林** 三十年計りで豫算約百萬圓の案を東京府會に提案する事になつた、多摩川の上流山梨縣に隣接する山林一千五百萬町歩に植林豫定。

■**電話線地下埋設** 逓信省では豫て大都市の電柱林立は都市の美觀を殺ぐと共に交通上の支障となり、又風雪被害等のために通信機能を減殺する事實に鑑み、電柱を撤去し、電話線を埋設すべく調査中だつたが

■**先づ東京市** は豫算三十五萬圓で來八月頃、丸の内の不燃焼建築物を中心とした地域の工事に着手し、次で銀座通の工事をなす筈である、尙名古屋市では目下豫算二萬二千圓を以て廣小路の片側六百七十二間を試験的に工事中。

■**下水改良工事** 東京市京橋、日本橋、神田、芝、麴町區の一部下水改良工事が先般完了したので受益者負擔金 1,836,350圓を坪當り 1圓31錢乃至35錢を十五年度から徴収する事になつた。

— 公 園 —

■**靈場到大歡樂境** 越山、星野、市川小林諸氏發起の身延温泉興業會社の計畫。身延驛の對岸大野村廿餘萬坪に旅館、文化遊藝場等を完備し、殊に甲州西山より八里の間、温泉を引いて歡樂境とする、設計及監督は本多靜六博士。

■**琵琶湖を背景に** 世界の大遊園地を建設するといふ湖岸埋立土地會社の計畫は、石場湖案汽船淺橋から川口町地先の總理立面積 68,106坪、内 14,370坪の湖上遊園地を築き、幅十間、長さ十五間の鐵筋の大橋を之に通ずる、道路は十間幅のアスファルト大道路で總工費二百萬圓、工期五箇年。

— 人 事 —

■**鐵相懇更迭** 仙石鐵相は今愈々辭職し、海軍政務次官井上匡四郎子が就任、六月三日親任式舉行。子は明治三十二年帝大探鑛冶金科出身の工學博士で帝大教授、滿鐵の鑛山部長等の職にあつた。

■**政務次官も** 鐵相の更迭に伴ひ、政務次官も前法制局長官、法學博士佐竹三吾氏が新任した、同氏は明治三十八年東大獨法科出身で、嘗て鐵道省監督局

長、大阪市電氣部長だつた。

■**牧野雅樂之丞氏** 内務省土木試験所長にして本邦道路學界の權威たる同氏は今夏イタリー、ミランに開催の國際道路會議に出席のため坂内務事務官同行六月二十二日横濱出帆渡歐された、歸途瑞、獨、佛、英各國の道路を視察の上年内歸朝の豫定。

■**試験所長後任** 前項牧野氏外遊に伴ひ、内務技師物部長穗氏が五月三十一日附で其後任(二等)を命ぜられた。氏は秋田縣の人、明治四十四年東大土木科出身の工學博士である。

— 雜 報 —

■**百萬圓の砂利採收場** 鐵道省の東京府多摩川下河原の砂利採收場は七十七萬圓かけたものだが、更に三十萬圓かけて世界的の計畫とする筈。先づ五萬圓の採收機二臺注文、年採收高は丸ピルの容積程即三萬立坪、毎日百二十車の貨車で千二百噸を國分寺まで運ぶ。

■**府縣に土木部** 今回改正の地方官々制によると、内務大臣は必要により府縣を指定して土木、産業、衛生の各部を置くことを得るが、要するに豫算と能力の問題で、當該府縣の能力が十分なこと、部長に適任者あること等が標準である。因に新設の土木部は土木、土地收用、水陸運輸、水面埋立を分掌する。

■**十勝岳硫黃山** (平山鑛業會社經營年産約千五百噸)が五月二十三日午後四時突然大爆發して山麓上富良野村方

面に無殘な損害を與へた。二十六日正午の調査によると、被害面積八百町歩、死者百三十六、被害戸數三百四十三、内流失七十三。

■**高卅尺の濁流** 原因は七條の溶岩が一町位の幅で流出して四尺の積雪を溶したのと、舊噴火口湖が決潰したため、高さ三十尺の凄じい奔流が山麓を洗ひ去つたものである。

■**北浦町の大水害** 秋田縣北浦町西南の耕地整理用大堤防(水面三町歩、深さ四十尺)が五月廿六日午後四時突然決潰し北浦町に大損害を與へた。被害は流失家屋六十四戸、回復不能の流失田地十町歩、其他四十町歩、死者十八名。

■**原因は堤防の繼目** 未だ原因に就て確報はないが舊堤防の上に大正九年築造した新堤防の繼目に軟弱の個所を生じた結果ではないかと言はれてゐる。



新任鐵道政務次官
佐竹三吾氏
Dr. S. Satake,
New Vice-Minister of Railway Administration.